

# 腎ろうを造設された患者様へ



## ＊腎ろう造設後の注意点＊

### 1. 腎ろうカテーテルが自然抜去したら

腎ろうカテーテルが自然抜去した時は緊急を要します。**抜去に気づいたらカテーテルを持ってすぐに病院を受診してください。**



### 2. 腎ろう周囲の尿漏れに気がいたら

腎ろう周囲の尿漏れに気がついた時はカテーテルが折れてないかどうかを確認しましょう。

さらに、カテーテルの挿入の長さが長すぎたり、短すぎたりしていないかどうかを確認します。

また、尿に浮遊物があると、腎ろうカテーテルがつまり、洗浄などの医療処置が必要となります。

**※尿の流出がみられなければすぐに病院を受診しましょう。**



### 3. 腎ろうカテーテルの固定について

腎ろうカテーテル挿入後1週間は挿入部を清潔に保つ必要があり、消毒とガーゼ保護が必要ですが、それ以降はガーゼ保護のみでよいです。

腎ろうカテーテルには目盛りがついており、皮膚挿入部から先端が何cmになるのか、記録しておくと参考になります。

カテーテルの自然抜去の予防のために必ずテープで固定しましょう。



## 4. 尿破棄について

採尿バックの尿は1500ml以上はためないようによみましょう。朝・昼・寝る前に尿を捨てるようにしてください。

尿を捨てる時は、採尿バックの排尿口をアルコール綿で消毒して捨ててください。



**※採尿バックが汚れたからといって水道水で洗い、再利用することはしないでください。**

## 5. シャワー浴について

- ・シャワー浴で周囲の皮膚を清潔に保つことは感染の危険を減らすことになります。石鹸をしっかりと泡立てて腎ろうカテーテルの刺入部周囲をやさしく洗浄してください。
- ・固定テープの粘着剤もしっかり落としましょう。
- ・感染を防ぐため採尿バックは接続したままシャワー浴をしましょう。その際、採尿バックが腰より低い位置になるように保ってください。
- ・引っ張られるとカテーテルが抜けてしまうので十分な注意が必要です。
- ・浴槽につかると発熱の原因となるため、なるべくシャワー浴を行ってください。



## 5. ガーゼ保護について

シャワー浴を行った後にガーゼで刺入部の保護を行ってください。ガーゼ交換は週に2回を目安としてください。ガーゼは2枚使用します。1枚目のガーゼは、アルコール綿で消毒したはさみでY字に切れ込みを入れ、刺入部にあてます。その上に2枚目のガーゼをあてて、テープで固定してください。

### カテーテルの消毒と交換

<p>1</p>  <p>石鹸を使って流水で手を洗う</p>	<p>2</p>  <p>清浄綿、滅菌ガーゼ、絆創膏、はさみを用意する</p>	<p>3</p>  <p>ガーゼを固定している絆創膏とガーゼをはがす</p>
<p>4</p>  <p>清浄綿でカテーテル挿入部から外側に向かって消毒する</p>	<p>5</p>  <p>はさみの刃を清浄綿で拭く</p>	<p>6</p>  <p>ガーゼを折り、はさみでY字型の切り込みを入れる</p>
<p>7</p>  <p>切り込みを入れたガーゼをカテーテル挿入部にあてる</p>	<p>8</p>  <p>別のガーゼを折り、切り込みを入れたガーゼの上にかぶせる</p>	<p>9</p>  <p>絆創膏で2箇所以上固定する</p>



できなければ

シャワー

## 7. レッグバックに付け替えるとき



カテーテルから採尿バックをはずしてレッグバッグに付け替えるときは、接続部をアルコール綿で消毒してからつなげてください。

## 8. 自己管理に必要な物品

- ・ ウロガード（閉鎖式蓄尿バック）



- ・ レッグバック（足に固定する蓄尿バック）



- ・ アルコール綿



- ・ ガーゼ



- ・ 固定するテープ



## 9. その他の注意点

- ・ カテーテルが折れたりねじれたりすると尿の流れが悪くなります。
- ・ 採尿バックを腰から上にあげると尿が逆流し、感染の原因になります。
- ・ 感染防止のため、尿量を保つために水分を多めにとりましょう。
- ・ 尿の色、量をよく観察し、濁りがひどい、血が混じる、熱が出る、尿量が少なくなる、背中が張るなどの症状があれば、医師の診察を受けましょう。

